

推進計画」に基づき、中学校に部活動指導員の配置を行い、教員の業務軽減に努めてまいります。

生涯学習については、幅広い年代が参加できるような各種講座を開催し、町民ニーズに対応した学習機会の創出と充実に取り組んでまいります。

また、地域文化・スポーツの向上や生活文化の振興等を目的とし活動している、島内各社会教育団体の活動を支援してまいります。

就学援助については、経済的理由により小中学校への就学が困難と認められる世帯に対する支援として、就学援助を継続するとともに、新入学児童生徒学用品費の援助単価の引き上げを行い、対象者へのさらなる支援に努めます。

学校給食費については、物価高騰の影響に伴う食料費等の上昇に対し、保護者の負担増とならないよう、これまで同様に食料費支援を行ってまいります。

安心・安全で栄養バランスの取れたおいしい学校給

食の提供、地場産物の活用及び伝統食・行事食を提供する等、学校給食の充実に努めてまいります。

また、老朽化により更新を予定している学校給食センターについては、高齢者及び障がい者向け配食サービス等の提供も網羅した機能をもつ「久米島町食の拠点施設」とし、令和8年度内の運用開始に向けて整備を進めてまいります。



学校給食センター施設イメージ図

幼小中適正規模・適正配置の取り組みについては、学校の小規模化に伴い、社会性の育成に制約が生じていることをはじめ、教育指導上多くの課題が存在しており、子どもたちの学習環境は厳しい状況にあります。

昨年度、本町の学校の現状及び小規模化が進むことで教育上どのような課題があるか調査研究を行い、地域説明会等において町民にお伝えするとともに適正規模・適正配置に関するアンケート調査を行いました。

学校規模適正化の検討は、様々な要素が絡む困難な課題ですが、あくまでも児童生徒の効果的な学習保障と教育環境整備の充実の観点を中心に据え、保護者や町民との共通理解を図りながら、引き続き望ましい学校規模と適正配置の方針策定に取り組んでまいります。



幼小中適正規模・適正配置の取組み「地域説明会」の様子

島唯一の高校である久米島高校の魅力化プロジェクトについては、これまでの

取り組みを充実させるとともに、生徒個々の学習支援につながるよう学習ソフトの実証を行い、学習面について新たな支援の検討を行っています。他にもこれからの久米島高校魅力化プロジェクトへの取り組みの在り方について、久米島高校及び学校を支える関係者からの助言をいただきながら検討してまいります。



県立久米島高等学校

町立図書館「ほんのもり」においては、町民の教育と文化の発展に寄与することを目的に、昨年度に引き続き乳幼児期からの読書支援としてブックスタート事業を実施いたします。また、学校との連携により児童生徒による本館の活用促進

を図ってまいります。文化振興については、町民が文化活動に親しめるよう久米島町文化協会と連携を図りながら、関連行事の活性化を促し、文化活動の充実発展に努めてまいります。



宇具志川棒術

文化財については、久米の五枝のマツのマツ材線虫病防除対策を実施いたしました。他にも災害により毀損した宇江城城跡、具志川城跡の修復を進めてまいります。伝統工芸品である久米島紬についても、重要無形文化財の指定から20周年を迎えることから、独自の技術が後世に継承されるよう必要な支援を図ってまいります。

他の指定文化財について